

もつと遠くへ、もつと大きく。

致

遠

館

CHIEN

佐賀県立 致遠館
中学校・高等学校

● 学校案内 ●



「志を遠大にする」。 鍋島直正公の精神が息づく学校です。



フルベッキ 1830～1890 Charles Messias Frisbie Kerbeck
オランダ生まれ、母体はアメリカ合衆国で宣教師として活躍。英で優れた水産師に就身を決定。1859年(明治3年)来日後、長崎の英学校、さらに佐賀藩の英語館で語学、政治、科学、農業などを教え、門下から大隈重信、伊藤博文らの人材が輩出した。1869年(明治2年)、幕府の顧問として船の上で来日。日本の近代化に大いに貢献し、幕府で没した。

「致遠館」は弘道館、好生館と同じく佐賀藩校の一つで、1867年鍋島直正公が米国人フルベッキを招いて長崎に設けた英学稽古所です。「致遠館」での教育は英語学習のほか理科、工業、経済、法制など時代の流れを見こした学習の勉強でした。ここで学んだ多くの生徒が海外に目を向け、新しい日本を動かす人物に育っていきました。「致遠」という語には、「志を遠大にする」「遠大な事業を成し遂げる」「遠くへ行く」の意味があります。このように、風格のある味わい深い言葉であるとともに、本校の教育内容が藩校致遠館での教育と重なり合うところも多いためから致遠館と名付けられました。まさに新しい日本を創った、直正公の精神が息づいている学校なのです。



鍋島直正 1811～1871 Naomasa Natsushima

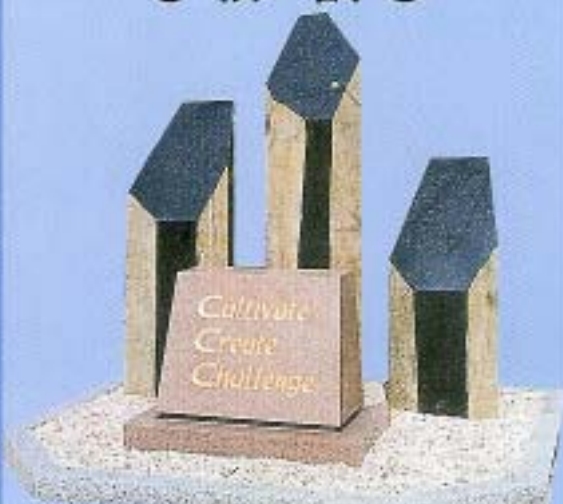
佐賀藩10代藩士。藩政に先んじて西洋文明を取り入れ、改革の設計。大隈の建造では全国に名を馳せた。海軍の基盤をつくる。西洋医学の研究、種痘の普及、藩校弘道館の創設などの功績が大きい。

教育目標

- 1 師弟同行して、いきいきとして風格のある校風を創造する。
- 2 心身を錬磨し、たくましく生きる気力と体力を養う。
- 3 自由と規律が調和し、他者への思いやりにあふれた人間を育てる。
- 4 ゆとりある中で個性を生かし、一人ひとりの能力を最大限に伸ばす。
- 5 諸体験を通して、自ら学び、考え、自ら行動する姿勢を培う。

致遠館

● 校訓 ●



Cultivate

(自己啓発)

真理は深く ころころ磨かむ

Create

(創造)

光豊けく ちから鍛えむ

Challenge

(チャレンジ)

理想は高く いのち燃やさむ

教育方針

世界の中の日本人として、
未来社会の文化の創造と発展に力をつくす、
豊かな人間性と進取の気性に富む若人を育てる。

6年間のゆとりある生活の中で

中学1年

中学2年

中学

自己理解

様々な体験活動や異年齢集団活動を通して自己理解を図る。

学習活動の充実

- ◆エリア・スタディ(総合的な学習の時間)
- ◆チャレンジセミナー(夏季・冬季)
- ◆C-Time(自学・自習)
- ◆研究者招へい講座(大学の先生による科学系の授業)
- ◆LL学習

様々な体験活動

- ◆新入生宿泊研修
- ◆福祉体験活動
- ◆ひのひかりプロジェクト(農業体験)
- ◆研修旅行

進路指導

- ◆社会人による講演会
- ◆職場体験学習
- ◆高校生との交流会
- ◆学問研究

自己実現への旅立ち

自己理解の深化

異年齢集団での活動

◆致遠館祭



(入学式)



(新入生宿泊研修)



(ひのひかりプロジェクト)



(致遠館祭)

一人ひとりの“夢”をじっくり描くことができます

3年

高校1年

進路設計

自らの適性の発見から選択した理数科、普通科人文コースでの学びを通して将来の進路の明確化を図る。



(沖縄への宿泊研修旅行)



(中体連)



(入学式)



(新入生宿泊研修)

— 中・高一貫で計画的に自己実現 —

H18年度より、
スーパーサイエンスハイスクール
(SSH) 事業の研究指定を受け、
更に自然に対する深い
洞察力を身につけた
科学系人材育成を目指します。

高校2年

高校3年

専門性の深化・自己実現

将来の進路実現に向けて特色ある教科の学習を通して個性の伸長を図る。

国際化社会に対応する教養を身につけた国際性豊かな人材の育成

ALTとのLL演習(1年・2年・3年)

人文探究(1年・2年)

自由研究・課題研究発表

英国修学旅行

大学とのジョイントセミナー

センター対策講座

志望大学別二次対策講座

小論文セミナー

科学技術の発展や情報化社会の発展に寄与する創造性豊かな人材育成

「研究者招へい講座」(1年・2年)

「課題研究」「スーパーサイエンス」(2年・3年)

理数情報(1年・2年)

理数英語(2年・3年)

自己の進路設計

自己実現



(イギリス修学旅行)



(大学とのジョイントセミナー)



(インターハイ)



(致遠祝祭)



(卒業式)

中学校

中学校と高校の6年間を通して、計画的・継続的・一体的な教育活動を展開していきますので、いろいろなメリットがあります。

学ぶ力がじっくり身につきます



授業風景



チャレンジセミナー

いろいろな学習を体験できます



研究者招へい講座



職場体験

学び、楽しむ365日。

中学生活には、一人ひとりの個性を輝かせるさまざまな行事があります。自分の力をどう発揮するかはあなた次第。自分の可能性にチャレンジしてみませんか。



いろいろな生活を体験できます



1年宿泊研修



致遠館祭(中高合同フィールド競技)

◆校時表

I 校時	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:00 8:20 8:30	C-time 朝の会				
I 校時 8:35~9:25	国語	英語	理科	美術	社会
II 校時 9:35~10:25	理科	国語	数学	美術	国語
III 校時 10:35~11:25	道徳	技術家庭	英語	数学	保健体育
IV 校時 11:35~12:25	数学	人文・理数	保健体育	理科	数学
昼休み					
V 校時 13:10~14:00	社会	音楽	総合	英語	人文・理数
掃除					
VI 校時 14:20~15:10	保健体育	社会	総合	学活	書写
15:20~15:50	帰りの会				
15:50~16:10	C-time				
16:00(16:30)	部活動				

部活動がじっくりやれます

部活動

【体育部】

軟式野球、テニス、サッカー、バレーボール、バスケットボール、陸上、剣道、水泳、卓球

【文化部】

写真、サイエンス、地球研究、茶道、美術、放送、書道、音楽、新聞、ボランティア



■選抜方法 ※平成18年度入学分■

募集定員	160名	
通学区域	県全域	
適性検査	適性Ⅰ	生活の中で起こるいろいろなできごとについて、自分ならどうするかを考え、それを人にわかりやすく伝える能力を総合的にみる。
	適性Ⅱ	身の回りのいろいろなことに対して、興味や関心を持ち、自分自身で問題を発見し、すじ道を立てて考え解決しようとする態度や能力などを総合的にみる。
学校適性検査	集団面接とし、その際、面接前に志願者各自が記入した自己推薦書を参考とする。	
抽選	第一次選抜通過者による抽選によって入学予定者を決定する。	

高等学校

充実したカリキュラムで過ごす3年間。大きな夢に向け、ホップ・ステップ・ジャンプ。

1年

2年

3年

普通科人文コース

英語・国語を主として、高校の学習の基礎を作る

国語7	芸術2	LL1
数学6	家庭2	ホームルーム
理科2	英語8	活動1
保体4	人文探究2	総合的な学習1

将来の進路を見据え、文系の進学を中心とした学習

国語5	保体4	人文探究1
地歴4	芸術1	LL1
数学6	情報2	ホームルーム活動1
理科3	英語6	総合的な学習1

文系科目を主とした入試への対応

国語6	理科3,6	ホームルーム
地歴5	体育2	活動1
公民3	英語7	総合的な学習1
数学6,3	LL1	

一部の教員養成系の入試への対応

国語6	理科6	ホームルーム
地歴5	体育2	活動1
公民3	英語7	総合的な学習1
数学3	LL1	

理数科

理数を中心に高校学習の基礎を作る

国語5	英語5	情報1
公民2	家庭2	ホームルーム
保体2	数学7	活動1
芸術2	理科7	課題研究基礎1

高いレベルの理数や課題研究を通じて、専門性を深める学習

国語5	数学6	ホームルーム
地歴3	理科9	活動1
保体4	情報1	課題研究1
英語5		

様々な理数進学への対応

国語5	数学8	ホームルーム
地歴4	理科8	活動1
体育3		課題研究1
英語5		

高いレベルの理数を中心とした高校学習の基礎

国語5	英語6	情報1
公民2	家庭2	ホームルーム
保体3	数学7	活動1
芸術2	理科5	総合的な学習1

将来の進路を見据えて、専門性を深める学習

国語5	数学7	ホームルーム
地歴4	理科7	活動1
保体4	情報1	総合的な学習1
英語5		

様々な理数進学への対応

国語5	数学8	ホームルーム
地歴4	理科8	活動1
体育3		総合的な学習1
英語5		

普通科人文コース



人文コースは、3年間を通じたLL演習や、学校設定科目である「人文探究」などを通じ、国際化社会に対応する教養を身につけた国際性豊かな人材の育成を目指します。また、入試科目の多様化に対応するため、教員養成系希望者に合わせたカリキュラムも設けています。

理数科



理数科は、科学技術講演会、放射線セミナー、課題研究などの学科ならではの諸活動・「理数情報」「理数英語」等の学校設定科目を通じて、科学技術の進歩につくし、21世紀を担う創造力に富む人材の育成を目指します。また、佐賀県全域から集まってくる個性的なクラスメートの存在も理数科の魅力です。

生徒会部活動

部活動は体育系10部、文化系11部。多くの先輩達が、放課後の時間に充実した施設を利用して、学習とは一味違った豊かな時間を過ごしています。入学して新たに知り合った分野で、全国レベルの大会において優秀な成績を残した人も少なくありません。学習と部活動を両立させた密度の高い生活、それが致遠館高校の部活動の信条です。

体育部

- 野球
- 陸上
- バレーボール
- テニス
- バスケット
- サッカー
- 剣道
- 弓道
- 水泳
- 卓球



文武両道 一生懸命さが感動を生む

文化部

- 写真
- 美術
- 科学
- 放送
- 英会話
- 書道
- 新聞
- 音楽
- 英語
- 図書
- ボランティア委員会



学び、楽しむ365日。

高校生活には中学時代とはひと味違った感動があります。1年をどう過ごすかは君次第! とも、自分の未来に向かって、有意義な高校生活をエンジョイしてみませんか。



日課時刻

8:00	8:20	8:30	8:35	9:25	9:35 (50分授業)	12:25	13:10	14:00	14:20	16:10	16:15
自習	ホーム	1校時	2校時	3校時	4校時	昼休み	5校時	掃除	6校時	7校時	終礼 部活動

選抜方法 ※平成18年度入学分

●普通科人文コース

募集定員	3学級 (120名)	
後期試験	募集人員	定員 (120名) より致遠館中学校内部進学者を差し引いた数 (40名程度)
	通学区域	中部学区 (募集人員の20%は隣接学区から入学できる)
	選抜要領	調査書、学力検査及び面接などを総合して行うなお、傾斜配点を行う (英語1.3倍)

●理数科

募集定員	3学級 (120名)	
通学区域	県 全 域	
推薦入学	募集人員	定員 (120名) より致遠館中学校内部進学者を差し引いた数 (40名程度) の40%
	選抜要領	推薦書、調査書、面接及び適性検査などを総合して行う
	適性検査	数学 (50分)・理科 (50分)
後期試験	募集人員	定員より致遠館中学校内部進学者と推薦入学合格内定者を差し引いた数
	選抜要領	調査書、学力検査及び面接などを総合して行うなお、傾斜配点を行う (数学・理科それぞれ1.5倍)

■卒業生より



長岡 遼
理数科1年

致遠館は自分の力を発見し、磨き、発揮することができる学校です。県内の様々な所からやって来る仲間と共に学び合い、競い合い、そして感動をわかちあうことができます。僕は中学3年生の時の文化祭で学年劇にみんなで取り組み、一致団結する大切さを知りました。劇を成功させようとするみんなの気持ちがひとつになったときのあの感動は今でも忘れません。「自分のやりたい事を見つけられる」それが致遠館中学校なのです。



秋月 美穂
人文コース1年

致遠館中学校で私が学んだことは、教科はもちろん、六年後の自分のあるべき姿だったように思います。毎日授業の始まる前から、静かに自習される先輩方。致遠館祭での真剣かつ積極的な姿は、憧れであり、目標でした。また、先生方の教えることに対する情熱に、いつもやる気もらいました。努力した分評価してもらえ、がんばりが認められるので、日々前進することができました。みんなで勉強し、伸びることのできる学校で学べたことが、何よりの誇りです。



山口 静香
佐賀大学医学部医学科

高校生活(特に3年生)の間、何度も悩むことがあるでしょう。私もそうでした。しかし、独りではありません。推薦入試当日、お忙しい中朝早くに二人の先生が激励に来てくださり、心強い気持ちで本番をむかえることが出来ました。致遠館には、本当に心から信頼できる先生方がいます。諦めず合格を手にするまで、「この大学に行きたい!」という気持ちを持っていて下さい。先生方に一生懸命ついていて下さい。後で、致遠館で良かったと気づくはず。昔さんが致遠館から笑顔で旅立っていくことを心から願っています。



山口 貴大
九州大学

これから高校に入るにあたって、勉強についていけるかどうか不安に思っている方も多いと思いますが、致遠館高校なら大丈夫です。致遠館の先生方は熱心で、勉強が分らなくなってきた生徒にも親身に対応し、生徒全員を引っ張ってしてくれます。また学校全体に勉強しようという雰囲気が出来上がっているので、受験にも集中して望むことが出来ます。私も三年間部活を続けていましたが、いざ受験となったときに、この雰囲気のおかげで、すぐに勉強に集中することが出来ました。私は致遠館高校を選んで本当に良かったと思います。

■本校卒業生の主な合格実績(過去3か年合計)



■学部・学科系統別進学状況(平成17年度)



